

仕 様 書

1 入札番号 総病管第 62-15 号

2 器械の名称及び数量 手洗い装置 9 台

3 機器の構成

1. 機器の構成

1-1	2 人用手洗装置	1 台
1-2	3 人用手洗装置	7 台
1-3	4 人用手洗装置	1 台

2. 手洗装置の仕様

- 2-1 2 人用手洗装置
 - 2-1-1 シンク部の材質は人工大理石製であること
 - 2-1-2 前面パネル部（鏡部）・シンク下部の色は別途指定可能で、任意の 2 色以上の組み合わせが選択可能であること
 - 2-1-3 鏡を各蛇口毎に備えること
 - 2-1-4 前面パネル部の表面がフラットになる埋め込み式の LED 蛍光灯を 2 灯有すること
 - 2-1-5 シンクは、深さが手前縁部より 390mm 以上であり、かつ外側への水流出を防ぐため、縁部が内側に傾斜していること
 - 2-1-6 ノズル部が手洗装置パネル面より、270mm 以上離して取付できるセンサー式ソープコンテナを 2 台有すること
 - 2-1-7 3 種類のセンサー式ソープ/消毒剤ディスペンサーを各 1 台有すること
 - 2-1-8 2 種類のセンサー式アルコールディスペンサーを各 1 台有すること
 - 2-1-9 給湯及び給水を直接混合し、水温を安定保持させるためのミキシングバルブを有すること
 - 2-1-10 シャワーは光電センサーにより内部の電磁弁を開・閉制御する機能を有すること
 - 2-1-11 シャワー口先端に設ける逆汚染防止機能は紫外線殺菌または無添加式電気分解次亜生成機能をする事
 - 2-1-12 シャワー未使用時間が一定時間続いた際、停滞水防止のため、自動的にブローする機能を有すること
 - 2-1-13 シンク前面縁部の高さは、床面から 870～920mm の間であること
 - 2-1-14 シャワー蛇口放水面の高さは、床面から 1,200mm～1,450mm であること
 - 2-1-15 手洗装置上部パネルは、手洗装置本体の上部から天井までの空間に、隙間をつくらない構造であること
 - 2-1-16 上部パネル外表面は、手洗装置前面パネルと同材質かつ同色にすること
 - 2-1-17 上部パネルには時計をパネル表面がフラットになるように埋め込み施工すること
 - 2-1-18 埋め込み電波時計用中継器を必要場所に設置して、標準電波を受信できるようにすること
 - 2-1-19 手洗装置の手洗い法及び必要物品を下記の通りとすること
3 階手術ホール 2：ウォーターレス×1、スクラブ方式×1、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、ペーパータオルボックス×1
- 2-2 3 人用手洗装置
 - 2-2-1 シンク部の材質は人工大理石製であること
 - 2-2-2 前面パネル部（鏡部）・シンク下部の色は別途指定可能で、任意の 2 色以上の組み合わせが選択可能であること

- 2-2-3 鏡を各蛇口毎に備えること
- 2-2-4 前面^パ 祢部の表面がフラットになる埋め込み式の LED 蛍光灯を 3 灯有すること
- 2-2-5 シンクは、深さが手前縁部より 390mm 以上であり、かつ外側への水流出を防ぐため、縁部が内側に傾斜していること
- 2-2-6 ノズル部が手洗装置^パ 祢面より、270mm 以上離して取付できるセンサー式ソープ コンテナを 2 台有すること
- 2-2-7 3 種類のセンサー式ソープ / 消毒剤^{ディ} スペンサーを各 1 台有すること
- 2-2-8 2 種類のセンサー式アルコール^{ディ} スペンサーを各 1 台有すること
- 2-2-9 給湯及び給水を直接混合し、水温を安定保持させるためのミキシングバルブ^ミ を有すること
- 2-2-10 シャワーは光電センサーにより内部の電磁弁を^オ・^フ制御する機能を有すること
- 2-2-11 シャワー口先端に設ける逆汚染防止機能は紫外線殺菌または無添加式電気分解次亜生成機能をすること
- 2-2-12 シャワー未使用時間が一定時間続いた際、停滞水防止のため、自動的にブローする機能を有すること
- 2-2-13 シンク前面縁部の高さは、床面から 870～920mm の間であること
- 2-2-14 シャワー蛇口放水面の高さは、床面から 1,200mm～1,450mm であること
- 2-2-15 手洗装置上部^パ 祢は、手洗装置本体の上部から天井までの空間に、隙間をつくらない構造であること
- 2-2-16 上部^パ 祢外表面は、手洗装置前面^パ 祢と同材質かつ同色にすること
- 2-2-17 上部^パ 祢には時計を^パ 祢表面がフラットになるように埋め込み施工すること
- 2-2-18 埋め込み電波時計用中継器を必要場所に設置して、標準電波を受信できるようにすること
- 2-2-19 手洗装置の手洗い法及び必要物品を下記の通りとすること
 - 3 階手術ホール 3：ウォーターレス方式×1、スクラブ^ス 方式×2、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、滅菌ブラシホルダー、ペーパータオルボックス×1(手術室 12 前)
 - 3 階手術ホール 3：ウォーターレス方式×1、スクラブ^ス 方式×2、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、滅菌ブラシホルダー、ペーパータオルボックス×1(手術室 13 前)
 - 3 階手術ホール 4：ウォーターレス方式×2、スクラブ^ス 方式×1、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、ペーパータオルボックス×1(手術室 18 周辺)
 - 3 階手術ホール 4：ウォーターレス方式×2、スクラブ^ス 方式×1、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、ペーパータオルボックス×1(手術室 20 周辺)
 - 3 階手術ホール 4：ウォーターレス方式×2、スクラブ^ス 方式×1、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、ペーパータオルボックス×1(手術室 21 周辺)
 - 4 階手術ホール 1：ウォーターレス方式×2、スクラブ^ス 方式×1、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、滅菌ブラシホルダー、ペーパータオルボックス×1(大型機材庫前)
 - 4 階手術ホール 2：ウォーターレス方式×2、スクラブ^ス 方式×1、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、滅菌ブラシホルダー、ペーパータオルボックス×1(手術室 5・6 の間)
- 2-3 4 人用手洗装置
- 2-3-1 4 人用手洗装置は 2 人用手洗装置を並列設置した構成であること
- 2-3-2 シンク部の材質は人工大理石製であること
- 2-3-3 前面^パ 祢部（鏡部）・シンク下部の色は別途指定可能で、任意の 2 色以上の組み合わせが選択可能であること
- 2-3-4 鏡を各蛇口毎に備えること
- 2-3-5 前面^パ 祢部の表面がフラットになる埋め込み式の LED 蛍光灯を 4 灯有すること
- 2-3-6 シンクは、深さが手前縁部より 390mm 以上であり、かつ外側への水流出を防ぐため、縁部が内側に傾斜していること
- 2-3-7 ノズル部が手洗装置^パ 祢面より、270mm 以上離して取付できるセンサー式ソープ コンテナを 2 台有すること
- 2-3-8 3 種類のセンサー式ソープ / 消毒剤^{ディ} スペンサーを各 2 台有すること

- 2-3-9 2種類のセンサー式アルコールディスペンサーを各1台有すること
- 2-3-10 給湯及び給水を直接混合し、水温を安定保持させるためのミキシングバルブを有すること
- 2-3-11 シャワーは光電センサーにより内部の電磁弁をON・OFF制御する機能を有すること
- 2-3-12 シャワー口先端に設ける逆汚染防止機能は紫外線殺菌または無添加式電気分解次亜生成機能をすること
- 2-3-13 シャワー未使用時間が一定時間続いた際、停滞水防止のため、自動的にブローする機能を有すること
- 2-3-14 シンク前面縁部の高さは、床面から870～920mmの間であること
- 2-3-15 シャワー蛇口放水面の高さは、床面から1,200mm～1,450mmであること
- 2-3-16 手洗装置上部パネルは、手洗装置本体の上部から天井までの空間に、隙間をつくらない構造であること
- 2-3-17 上部パネル外面は、手洗装置前面パネルと同材質かつ同色にすること
- 2-3-18 上部パネルには時計をパネル表面がフラットになるように埋め込み施工すること
- 2-3-19 埋め込み電波時計用中継器を必要場所に設置して、標準電波を受信できるようにすること
- 2-3-20 手洗装置の手洗い法及び必要物品を下記の通りとすること
3階手術ホール2：ウォーターレス方式×2、スクラブ方式×2、滅菌タオル×1、ダストボックス×1、滅菌ブラシホルダー、ペーパータオルボックス×1(手術室8前)

3. その他

- 3-1 納入の際、二次側接続配管・配線工事は本工事とする
- 3-2 納入の際、動作確認、シャワー毎の流量調整、光電センサー調整等の試運転調整を行うこと
- 3-3 納入後、必要に応じた回数取扱い説明を行うこと
- 3-4 取扱説明書は、日本語版の取扱説明書（概要版を含む）及びメンテナンス説明書を提出すること
- 3-5 試運転終了後より翌年度の末日まで性能保証をし、その期間に発生した初期不良又は製造元に原因が帰するものについては、無償で修理又は、取替を行うこと
- 3-6 東海地区にメーカーメンテナンスの拠点・保守業者を有しており、迅速なメンテナンス対応が可能であること

4 搬入場所及び保守体制

(1) 搬入場所

静岡県立総合病院先端医学棟 手術室

(2) 保守体制

本院から要請のあった場合は、迅速な保守サービスができる体制であること。

納入後翌年度末までは、機器が正常に稼働するために必要な保守・点検（定期交換部品代含む）を無償ですること。

機器の部品は準備し、適正な価格で供給すること。